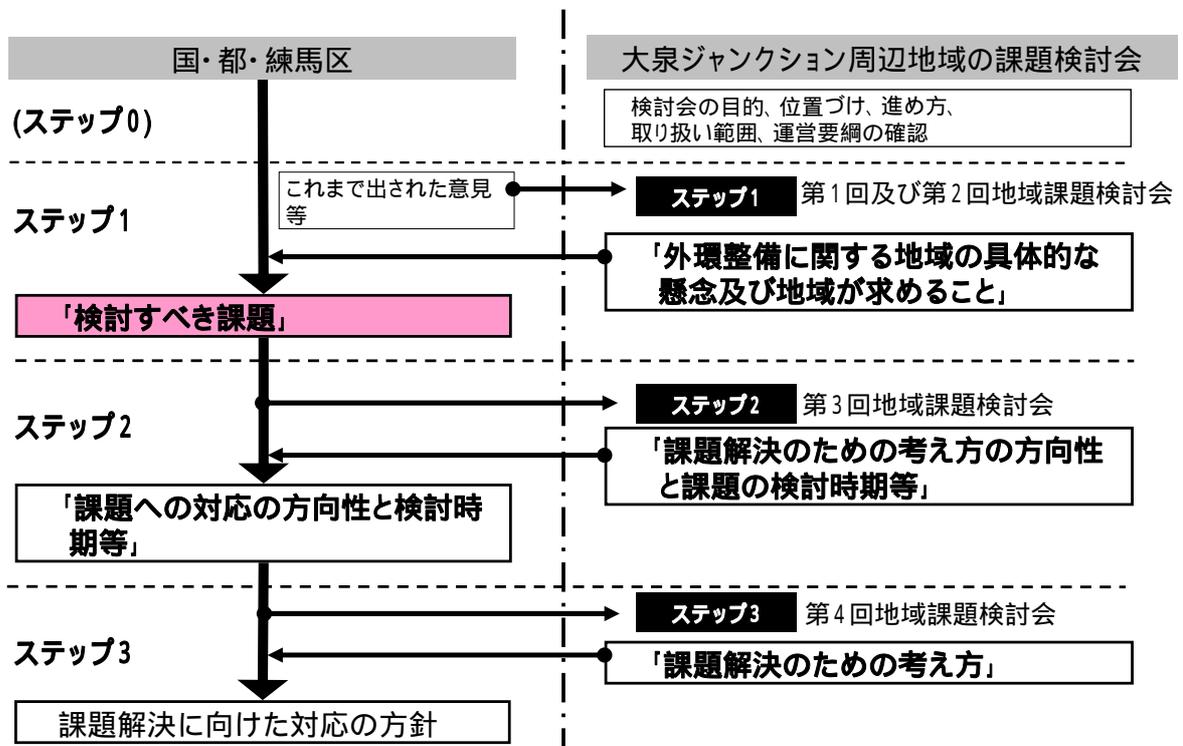


ステップ 1-2

検討すべき課題（案）

- ・ 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。



大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会
検討すべき課題(案)

本資料は、第 3 回課題検討会で配布した『検討すべき課題(案)』を、第 3 回課題検討会での意見を踏まえて更新したものです。

【本資料について】

- ・この『検討すべき課題』(案)は、大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会においてステップ 1 の成果としてとりまとめられた『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』を受けて、主催者が整理したものです。
- ・課題検討会で頂いた懸念や期待について、主催者である国・都・区が、外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した内容を示しています。
- ・なお、本資料は、今後の意見を踏まえて更新していきます。

平成 20 年 9 月 25 日

大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会 主催者
(国土交通省・東京都・練馬区)

大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会

『検討すべき課題』(案) 目次

1 . 交通	1
(1) 地区交通	
(2) 幹線交通	
(3) 広域交通	
2 . 環境	2
(1) 大気質	
(2) 騒音・振動	
(3) 地下水	
(4) 動物・植物・生態系	
(5) 緑の量	
(6) 景観	
(7) 八の釜憩いの森	
(8) 環境一般	
3 . まちづくり	6
(1) まちづくり全般	
(2) 地域分断	
4 . 安全・安心	7
(1) 交通安全・治安	
(2) 災害・事故時の対応	
5 . 工事中	8
(1) 工事中の交通への影響	
(2) 工事中の環境への影響	
(3) 工事中の安全性	
6 . 用地・補償	9
7 . 計画検討の進め方	10
(1) 計画検討全般	
(2) 意見反映	
(3) 情報の提供	

1. 交通

(1) 地区交通

【検討すべき課題】

- ・生活道路の交通量が増え、住宅街での渋滞の発生や住環境の悪化への懸念
- ・大泉街道と目白通りを結ぶ計画の道路の通過交通についての懸念
- ・生活道路における渋滞や安全性が改善されることへの期待

関連する意見例

- ・ジャンクションができて交通渋滞は緩和はされず、抜け道となっている生活道路にさらに車が増えるのではないかと懸念している。生活道路に通過交通が流入しないような対策を望んでいる。
- ・目白通りインターチェンジを降りる車がさらに増えて、渋滞がひどくなるのではないかと懸念がある。
- ・大泉街道と目白通りとを結ぶ計画の地上部の道路は、地域の生活道路ではなく通過交通のための道路になるのではないかと心配である。
- ・現在は、自宅前の生活道路が大泉インターから出た車の抜け道で渋滞し、事故が多発しているため、外環整備により改善されることを希望する。
- ・外環整備により生活道路の渋滞や安全性が改善されることを期待する。

(2) 幹線交通

【検討すべき課題】

- ・目白通りや目白通りインターチェンジ周辺をはじめとした周辺交通の混雑についての懸念
- ・目白通りなどの混雑改善や地域の利便性向上への期待

関連する意見例

- ・目白通りにインターが出来ることで、さらに車が集中し、目白通りの渋滞が酷くなるのではないかと懸念している。
- ・外環が大泉から東名までつながれば、大泉ジャンクションで降りていた交通が減り、地域渋滞が少なくなることを期待する。
- ・大泉インター入り口に関越のインターチェンジを設置して、周辺の利便性が高まることを期待している。
- ・練馬インターチェンジから首都高速につながっていないので、関越道の利用者が大泉地区の一般道路に下りることになり、交通が混雑している。首都高速 10 号線の早期開通を望む。

(3) 広域交通

【検討すべき課題】

- ・大泉が終点となっていた外環が延伸することによる、利便性の向上への期待

関連する意見例

- ・外環を利用する大泉の住民の利便性が高まることを期待している。地域に愛されるジャンクションとしてほしい。

2. 環境

(1)大気質

【検討すべき課題】

- ・周辺に教育施設が多く、換気所やジャンクション、インターチェンジ等の施設からの大気質への影響についての懸念
- ・ジャンクションにおける減速・加速や、料金所における渋滞、停止・発進による排気ガスの大気質への影響についての懸念
- ・換気所の計画地は周辺より低くなっており、換気塔の高さが不十分ではないかとの懸念
- ・換気所の性能や維持管理方法、故障時の対応等についての懸念

関連する意見例

- ・外環道や換気所の整備により、排気ガスによる大気汚染が悪化し周辺地域住民の健康被害の増大が懸念される。周辺地域への影響(主に大気汚染)を最小限に抑えるような計画にしてほしい。
- ・掘り割り部分はすべて地上に出ているので、三原中や泉新小への排気ガスによる影響が心配。
- ・狭い地域内に、ジャンクションとインターチェンジで自動車レーンが何本もあり、交通量が増えることが懸念される。騒音排出ガスはすさまじいのではないかと懸念される。
- ・換気所の数が少なく大泉への負荷が大きいことへ懸念がある。数を増やして負荷を減らすべきである。
- ・すでに清掃工場も近くにあるのに加え、換気所ができることによる大気への影響が心配。
- ・大泉4丁目では、現在関越の排気ガスの影響で、洗濯物が黒くなる状況が発生している。今後も排気ガスの影響で洗濯物が黒くなることが懸念される。
- ・この地域は北風が多いので、ジャンクション南側の地域へ今まで以上に排気ガスが流れて来るのではないかと心配だ。
- ・大泉ジャンクション北側は周囲に比べて低地になっており、日頃から空気がよどみ汚れていると感じている。外環道や換気所が整備されると、さらに空気が汚れるのではないかと懸念している。
- ・大泉5丁目周辺はくぼ地になっているため、地形を考えると排気ガスがとどまったり、騒音が大きく聞こえるのではないかと懸念している。
- ・季節や気候によって、空気の流れの状況が異なると考えられるので、大気汚染の調査を四季折々やってほしい。空気の流れが悪くなることが懸念されるので、その影響も調査してほしい。
- ・ジャンクション周辺の風下に排気ガスが流される懸念がある。
- ・料金所のところで渋滞が起きて排気ガスが溜まってしまうことが心配。料金所で渋滞が起これないようにしてほしい。
- ・料金所が出来ることにより、ストップ・スタートで排ガスが増える影響があるのではないかと不安である。
- ・出入口付近では停・発車の排気ガスに加え、換気所による大気への影響も懸念される。換気所は一部の地域に負担が集中しないよう公平に設置してほしい。
- ・インターチェンジの出入口で渋滞が起これ、大気への影響が進むのではないかと心配している。
- ・料金所をつくると、その付近で車が加速するため排気ガスの懸念がある。
- ・現在の換気所の位置は周辺地域に比べて一番低いところであり、煙突を高くしてもそれほど飛散はできないのではないかと懸念している。
- ・換気所の場所は周辺より低くなっており、換気所の高さが30mでは足りないのではないかと心配している。
- ・煙突の高さは可能な限り高くして、できるだけ遠くへ排気を飛ばして欲しい。
- ・換気所が低地にあるため、換気所を高くしても大泉4丁目など高台にあるマンションに対して高さが十分でなく排気の影響があるのではないかと心配。
- ・換気塔の高さは地表面から30mとのことであるが、防音壁等の高さを考えると低いのではないかと、防音壁と換気所の排気口の高さが近いので、拡散する際に影響があるのではないかと心配である。換気塔を高くして防音壁から距離をとってほしい。
- ・換気所のフィルターが詰まるのではないかと心配している。
- ・換気所の性能や故障時の対応、自然環境への影響について不安がある。
- ・換気所のフィルターを定期的にメンテナンスする予定とのことであるが、フィルターの性能に懸念がある。メ

メンテナンスの具体的な方法を教えてほしい。

・集めた粉塵への対応方法について懸念がある。どのように処理するのか。また、どの程度集まるのか、どの程度外に放出するのか。

・縦流方式の換気所が1箇所だと、トンネル内での災害時、停電時、換気所の故障時などのトラブル発生時の対応や、周辺住民の健康への影響が懸念されるので、たとえコストがかかっても地域へのリスクの軽減を考慮して横流方式にして欲しい。

・換気所の排気ガスの処理能力が十分かどうか心配。縦流式の事例の情報提供や、実際に縦流式の事例見学を踏まえて、換気所の方式がどちらの方式が良いか比較検討したい。

(2) 騒音・振動

【検討すべき課題】

- ・換気所やジャンクションの周辺地域での騒音や振動への懸念

関連する意見例

- ・開削部分から出る騒音による健康への影響が心配。
- ・工事中や整備後の建物への振動がどの程度あるのか心配。
- ・周辺地域への振動が心配である。
- ・換気所から100m上空に排気を噴出するときの騒音が心配である。ジェット機と同じくらいまたはそれ以上の騒音が出るのではないかと。換気所を分散するなど換気所1箇所にかかる負担を少なくしてほしい。

(3) 地下水

【検討すべき課題】

- ・地下構造物の影響により地下水が遮断されることについての懸念
- ・地下水の変化に伴う地盤の沈下が起こるのではないかと懸念
- ・生活用水として利用している地下水への影響についての懸念
- ・白子川の河川水への影響についての懸念

関連する意見例

- ・トンネル構造によって、地下水の流れを阻害するのではないかと。地下水の流れをバイパスで流すと言うのは不安だ。
- ・外環トンネルができると地下水脈が切れ、地下水の行き場がなくなるのではないかと、またそれに伴い地盤沈下が起きるのではないかと不安だ。
- ・生活水を地下水でまかなっており、地下水が涸れると生活できなくなるので心配である。
- ・白子川には大泉の地下水も多く流れ込んでいる。外環整備で開削やトンネルを掘ることにより地下水脈が変わってしまい、白子川の流量が減ってしまうことを懸念する。外環整備としてしっかり地下水脈調査をやってほしい。

(4) 動物・植物・生態系

【検討すべき課題】

- ・石神井公園など周辺地域における動植物などの生態系への影響についての懸念

関連する意見例

- ・石神井公園など周辺の動植物の生態系への影響が心配である。
- ・白子川には鮎がいる。きれいな川の水をできる限り残してほしい。

(5) 緑の量

【検討すべき課題】

- ・ジャンクション周辺において緑が整備されることへの期待

関連する意見例

- ・ジャンクションに緑を増やすよう最大限考慮して欲しい。
- ・現大泉 JCT 周辺は熱がこもって気温が高いため、外環の外壁を緑化して温暖化対策をしてほしい。

(6) 景観

【検討すべき課題】

- ・換気所やジャンクション構造物が地域の景観と調和がとれるのかとの懸念
- ・換気所などの構造物が周辺景観に配慮したものとなることへの期待

関連する意見例

- ・地域に似合わない構造物が出現する事による景観の悪化が懸念される。景観と調和するようにして欲しい。
- ・換気所周辺が環境や景観を配慮しない無機質な構造物になるのではないかと懸念している。例えば、低いところに植栽を施すなどの工夫を望む。
- ・防音壁の色調や素材、形状の工夫を望む。樹木で覆ったり、壁面緑化などの方法を期待する。
- ・普通の風景になじむような構造物の景観デザインとしてほしい。

(7) 八の釜憩いの森

【検討すべき課題】

- ・八の釜憩いの森の湧水が消失することへの懸念
- ・八の釜憩いの森の緑、動植物への影響、憩いの場が消失することへの懸念
- ・八の釜憩いの森の湧水について詳細な調査が不足しているのではないかと懸念
- ・八の釜憩いの森の代償措置についての懸念

関連する意見例

- ・開削工事により地下水脈が変わってしまい、湧水が出なくなってしまうことが心配である。
- ・八の釜の風情の中でも、特に湧水は人工的な復元であっても残したいと思うが、復元できるものなのか不安を感じる。
- ・八の釜の池の水はきれいでもホタルも見られる。湧水は昔から住民の手で守られてきたものだ。この湧水を保全してほしい。
- ・外環整備に伴い、八の釜の水脈が枯れてしまうのではないかと懸念している。湧水が残るのであれば、びくに公園に蓋掛けして、その上部に八の釜の持つ湧水や自然林を移動して欲しい。
- ・自然遺産とも言えるべき八の釜の湧水を守るのか、水脈が断ち切られるという懸念がある。本線を三郷側の遠くからトンネルにして湧水の水脈に少しでも影響を与えない方法、緑に覆われ目立たないような地上を通過して湧水を守るなど自然を破壊するのではなく自然と一体化した試みを希望する。
- ・八の釜は「江戸時代からの歴史性・場所性」「天然記念物」「湧水」「斜面林」「子どもの遊び場」という多様な要素があり、区の中でも重要な場所の1つと感じているが、なぜこのような貴重な場を通過する計画線になったのか、理由を知りたい。

- ・八の釜憩いの森には他の地域にはない希少なブナ雑木林がある。この緑を残してほしい。
- ・八の釜の「ホテルやカワモズクなどの生態系」は練馬区内でも貴重な財産であり保全すべき。
- ・八の釜の緑、湧水、生き物すべてが大切である。珍しい鳥もいる。一度壊れた自然は取り戻せない。
- ・八の釜の周辺は、環境の変化や土地利用の改変があった中で、八の釜は地域の手で守られてきた。この湧き水のある希少な身近な自然を地域の資産として子供たちにそのままの形で継承できるよう保全してほしい。
- ・八の釜一帯の自然環境は、子どもが成長していく過程で遊びを通して環境学習できる貴重な場所であり、必要な場所である。保全すべき。
- ・湧水のことを議論するには、まず地下水脈(みずみち)の調査をし、状況を把握する事が不可欠である。そのことがまだなされていないので、きちんと調査してほしい。
- ・湧水は、水源やどういう流れが来ているのか等、詳細に調査してもらいたい。
- ・八の釜の移転が、八の釜を潰してから行われるのでは遅すぎて、代替にならないことを懸念している。早い時期に実施すべきである。工事着手前に調査し移転すべきである。
- ・現在ある貴重な湧水やカワモズクなどは簡単に移植や再現はできないし、再現しようとしても陳腐な物になってしまうと思う。
- ・八の釜の湧水がなくなるのであれば、それに代わる水源を設け、何箇所か池をつくり歩道をつくるなど、子供達を楽しめる場づくりに期待している。昔いた壘の復活など観光名所となることも期待する。
- ・八の釜の代替地は、八の釜と同等の自然を確保できるか懸念がある。例えばビオトープのような形態にしてはどうか。
- ・仮に八の釜を移転するとしても、最大限の配慮がなされるのかどうか懸念がある。隣りに池を作りホテルを放せばいいということではない。簡単に考えて欲しくない。

(8) 環境一般

【検討すべき課題】

- ・道路照明による周辺環境への影響についての懸念
- ・PM2.5 など現在の環境基準で定められていない項目に関する懸念
- ・環境に影響が生じた場合への対応に関する懸念
- ・コストを優先して環境対策が軽視されるのではないかと懸念

関連する意見例

- ・夜の街路灯の明かりによる周辺環境への影響が懸念されるので、夜間の明るさにおける周辺環境への配慮を望む。
- ・PM2.5 を取り除く方法を検討してほしい。住民の健康を守って欲しい。
- ・2.5 マイクロメートル以下のSPM(粒子)が環境基準とされていないことを懸念している。
- ・開通後に事前に予測出来なかった問題が生じた場合の対応を事前に検討する必要があるのではないかと。
- ・外環完成後の環境への影響を把握し、速やかな対応が出来るよう、今から定点観測を始めて欲しい。風の状況・風速・風向き・天気・各時期ごとの大気の状態等のデータを収集して欲しいがそのような事はしているのか、またする予定はあるのか教えて欲しい。
- ・大泉の粉塵の集中が懸念されるなか、コスト重視で処理方法を決定するのはないかという懸念がある。粉塵を効率的かつ確実に処理することができる方式を期待する。

3. まちづくり

(1) まちづくり全般

【検討すべき課題】

- ・ 外環の整備に伴い、周辺のまちづくりの計画がどのようになるのかとの懸念
- ・ 環境施設帯を利用して、生活道路や緑地などを確保することへの期待
- ・ 外環整備によって、住環境がよくなることへの期待

関連する意見例

- ・ 外環の整備により沿線の用途地域規制の変更が必要になる場合、生活環境にどのような影響があるのか教えて欲しい。
- ・ 周辺住民にとっては、道路ができることによってどうまちが変わるかが一番気になる。現在の周辺地域の都市計画の情報がベースになるはずだが、そうした情報も提供されていないので、きちんと説明してほしい。
- ・ 環境施設帯など地上部がどのようになるのか心配している。生活道路の整備や植樹をするなど、環境施設帯を有効活用してほしい。
- ・ 外環が整備されることにより住環境がよくなることを期待する。

(2) 地域分断

【検討すべき課題】

- ・ 既存の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念
- ・ 三原台中学校、泉新小学校などの学区域や通学路が分断されるのではないかと
の懸念
- ・ 地域コミュニティの分断への懸念
- ・ 土支田通りや東映通り、大泉街道を通るバスルートの廃止や変更など交通利便性の低下への懸念

関連する意見例

- ・ 開削部分により道路が分断され、家の前から東西に通行できた道が通れなくなり、不便になるのではないかと。開削部分に側道をつけてほしい。
- ・ 外環の整備により生活道路が分断されることを懸念している。
- ・ 自治会・町会が分断されたり、泉新小学校、大泉東小学校、三原台中学校の通学路が分断されたりしないように、環境施設帯に生活道路を整備するなどしてほしい。
- ・ 開削部分により、三原台中学校の学区域が分断されることが心配なので、開削部分の計画地に存在する道路の扱いについて知りたい。
- ・ 計画で徒歩圏が分断され、日常で自転車を利用する際にも不便になることを懸念している。
- ・ 東大泉2丁目と三原台3丁目の地域分断が心配である。事業用地を利用して、連絡できる道路の整備を望む。
- ・ 外環ができると地域のコミュニティが分断されることを懸念している。コミュニティが分断されないようにするために、環境施設帯にミニ集会所や公共施設をつくってほしい。
- ・ 外環工事中や完成後に、土支田通りや東映通りを通るバス路線が廃止されるのではないかと懸念がある。
- ・ 大泉街道、都民農園方面の現在のバス路線に影響があるのか不安である。
- ・ 街が分断され商圈が小さくなってしまい、商売に影響が出るのではないかと心配している。

4 . 安全・安心

(1)交通安全・治安

【検討すべき課題】

- ・生活道路の交通量が増え、安全性が低下するのではないかとの懸念
- ・環境施設帯の植栽で見通しが悪くなることによる治安の悪化への懸念

関連する意見例

- ・生活道路が外環利用者の抜け道として利用されることで安全性の低下が懸念される。特に小学校、中学校が近隣にあるため不安だ。
- ・出入口周辺に交通が集中することで、大泉6丁目の歩車分離がない通学路に通過交通が入ることを心配している。外環完成前に既存の道路整備が必要。
- ・防音壁付近等における植栽が、暗がりを生み、防犯上悪影響があるのではと懸念される。

(2)災害・事故時の対応

【検討すべき課題】

- ・トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法についての懸念

関連する意見例

- ・地下部分で交通事故による火災が起きたときが心配である。火災事故が起きた場合の対策が知りたい。
- ・想定外の大規模地震が発生した場合、トンネル出入口部分が崩壊するのではないか。トンネル出入口部分の強度と安全性に関する説明をしてほしい。
- ・トンネル内で事故が起こった時の避難路が確保されているか心配である。現案の地上部まで徒歩で避難するには距離が長いので、大深度にあたる箇所にも地上への避難路を作り、あわせて換気所も設置してほしい。

5 . 工事中

(1) 工事中の交通への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事車両による目白通りや大泉学園通り、大泉街道などの渋滞や安全性低下への懸念
- ・ 工事期間中の生活道路機能の確保についての懸念

関連する意見例

- ・ 工事中の工事車両の流入や車線規制により、目白通り・大泉学園通り・大泉街道の通行(通勤バス)に支障がでるのではないかと懸念がある。
- ・ 工事期間が長期にわたるため、工事関係車両が、地区内の生活道路に侵入してこないか心配である。
- ・ 大泉町5丁目、6丁目は道路が狭く、現在白子川の改修工事で多くの工事車両が通って危険である。外環の工事でさらにひどくなるのではないかと懸念する。
- ・ 工事中の生活道路、通学路を確保して欲しい。

(2) 工事中の環境への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事に伴う騒音・振動や粉塵、工事用車両による排気ガス等による環境への影響についての懸念
- ・ 工事に伴う地下水、土壌、水質への影響についての懸念
- ・ 工事に伴う土地の隆起や地盤沈下についての懸念
- ・ 工事期間中の地下埋設物への対処についての懸念

関連する意見例

- ・ 開削工事により、外環に隣接する住宅の生活環境(騒音・振動)が悪化する懸念がある。
- ・ 工事車両による、排気ガス、粉塵、騒音が懸念される。
- ・ 工事で水を止めるために注入液をつかうと聞いたが、土壌や水質の汚染が心配である。注入液の安全性について教えて欲しい。
- ・ 開削をせずにトンネルにすれば、工事中の騒音や地下水など多くの問題が解決すると思われる。技術的にしっかり検討して欲しい。
- ・ 八の釜周辺で、工事の際地下水を止める事による土地の隆起や地盤沈下が懸念される。
- ・ 地下埋設物への対処がどの様に行われるのか不安。

(3) 工事中の安全性

【検討すべき課題】

- ・ 工事中における子供や高齢者などの交通の安全性の確保についての懸念

関連する意見例

- ・ 工事車両が増加することで、小中学生や高齢者など歩行者の安全に懸念がある。
- ・ 工事車両が地域の中にとくさん入り、交通事故が起きないか不安である。

6 . 用地・補償

【検討すべき課題】

- ・移転、代替地の確保、補償などへの懸念
- ・地権者へ用地補償についてわかりやすい説明や丁寧な対応がなされるのかとの懸念

関連する意見例

- ・自宅が計画内にかかっており、高齢のため移転や代替地のことが心配である。
- ・開削部の居住者の今後の生活設計に不安がある。
- ・用地補償については、わかりやすくきちんと説明してほしい。
- ・事業化される前に、外環予定地の地権者に十分な説明会を開いてほしい。

7 . 計画検討の進め方

(1) 計画検討全般

【検討すべき課題】

- ・ 外環の整備効果が十分発揮されるのかとの懸念
- ・ 最新のデータ等を踏まえた交通量推計による計画となっているかとの懸念
- ・ 地質や地下水などの調査が不足しているのではないかと懸念
- ・ 外環ノ2の計画検討スケジュールが明らかでないことについての懸念

- ・ 最新の技術が活用されることへの期待

関連する意見例

- ・ 通行料金が高いと外環利用者が少なくなり、地区内に通過交通が入り込むのではないかと懸念がある。
- ・ 外環整備後の交通量は、現在の予測値より大きいのではないかと懸念がある。
- ・ 交通量の調査は最新のデータを使用して欲しい。
- ・ 新座にインターチェンジができる話があるが、これと外環ができたときに地域への交通量がどのようになるか知りたい。
- ・ 湧水や地盤への影響が心配である。地盤調査・湧水調査をしっかりと行って欲しい。
- ・ 外環ノ2の計画検討のスケジュールが明らかにされていないことを懸念している。
- ・ 海外の技術や実績を調査していいものを取り入れたり、新技術を積極的に取り入れて欲しい。

(2) 意見反映

【検討すべき課題】

- ・ 地域課題検討会での意見が計画に反映されないのではないかと懸念

- ・ 今後も地域の住民の意見を聴き、具体的な検討を行うことへの期待

関連する意見例

- ・ 八の釜を残して欲しいという意見を言っても、対応に変化がなく、何も変える気がないと感じている。住民の意見を聞く姿勢が見られないことが、話をしても仕方がないと思わせ、不信感につながっている。
- ・ ほとんどの意見は出ている。今さら色々決めても計画は変わらないのではないか。
- ・ 用地補償などの問題があるので石神井町の住民にも意見を聴く場を設けてほしい。
- ・ 緩衝緑地や歩道の配置なども生活圏に影響があるので、実際に利用する地域で使い勝手を考え、提案できる機会を設けて欲しい。
- ・ 自然環境は将来に対して最も重要な問題なので、今後の話し合いに期待している。

(3) 情報の提供

【検討すべき課題】

- ・ 地域住民への十分な情報提供への期待

関連する意見例

- ・ 過去の工事で目白通りの通学路が遮断されたが、情報提供が十分でなく混乱した経緯がある。計画の早期発表、周知を十分してほしい。

- ・大泉ジャンクションの計画線を決めた根拠や理由を教えてください。
- ・事業費の概算について住民への説明がほしい。
- ・大気の状態と予測値を比較して検討できるように、事前に双方の具体的な数値を教えてください。
- ・他地域の検討会における意見等も合わせて整理し、必要に応じて公表してほしい。
- ・住民は現状で何も分からないことが不安である(目に見えないことが不安である)。もっと具体的な情報を提示してほしい。
- ・周辺住民に検討会だよりをポスティングするなど、きめ細かく情報提供してほしい。地域への情報提供が十分でない(特に町会など)。